

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
6日	大教会ひのきしん（岡谷・眞世・南洲）
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本（あやの台）
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん（道弘）
18日	岡心勇隊大阪地区
21日	大教会ひのきしん（相嘉）
22日	祭典準備ひのきしん
22日	大教会ひのきしん（表野・飛鳥川・岡秋）
22～23日	大教会役員会議
23日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
23～26日	婦人会詰所ひのきしん
24日	大教会ひのきしん（東松浦・西北）
25日	詰所ひのきしん日
26日	本部月次祭
30日	岡心勇隊姪浜会場
第一日曜日	おちば伏せ込み団参（午前中）

R188 Event Information

▼その他の行事予定▲

1月1日	大教会元旦祭
5～7日	ご本部お節会
23日	婦人会バザー
25日	おちば伏せ込みひのきしん
26日	大教会年頭会議
27日	ご本部春季大祭
29日	少年会年頭幹部会
29日	婦人会創立記念のつどい（西北会場）
29日	婦人会創立記念のつどい（関西会場）

2月1日	婦人会創立記念のつどい（福門会場）
5日	婦人会創立記念のつどい（東松浦会場）
24日	岡分会のつどいIn関西
25～26日	祭儀式研修会
25～26日	登殿参列
25～26日	大教会布教修練所実動

教務報

◆教養掛
1月 眞世 森井 道典
2月 須光 光武 大和

◆別席願（11月16日～12月15日受付分）
表田 大塚 和 美

岡大教会連絡報

立教二八八年 一月号（十二月二十三日発行）

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744) 54-2002
FAX (0744) 54-3889
E-mail info@oka.or.jp
187.12.23 / 067

TOPIC

大教会「特別懇談巡教」を実施

教祖年祭活動三年目に向けて気運高める



▲12月に実施された「特別懇談巡教」。巡教では、教祖年祭の旬に相応しい心の持ち方が伝えられた。写真は表野分教会の様子。

10月26日、ご本部の秋季大祭で真柱様は、能登半島の地震災害と豪雨災害に触れられ、「私たちの年祭に対する取り組みが、思召にお応えするにはまだまだだ、ということなのだと思った」と述べられた。そのうえで、「道の子が一手一つになって力強く歩むまでは、もっとたくさんの方々が年祭に心を向け、年祭へ向かっての動きに取り組みように働きかけ、丹精を続けなければ、教祖に安心してはいただけない」と求められ、年祭活

動「三年千日」の期間は「動かしていただく事が大切」だと強調された。

大教会では、年祭活動の最後の年を目前にした12月、部内教会を対象に「特別懇談巡教」を実施。巡教員のお話の後、巡教員と教会長夫妻を除く参拝者で懇談を行った。

「参拝者の方々との懇談を通して、一人でも多くのようばく・信者に年祭活動に加わっていただけるように働きかけたい（大教



▲巡教員の話に続いて実施された「懇談」の様子。

会長様」との思いが込められている今回の巡教。巡教員は真柱様のおことばを胸に、教祖年祭の旬に相応しい心の持ち方を伝えるべく話を進めた。そして、教会で掲げる心定めについて「二人でも多くの人に、この道の教えを伝えるための目標。教会に関わる皆さん一人ひとりの『心定め』でもあり、力を添えていただきたい」と求めた。

青年会岡分会インフォメーション

教祖140年祭に向かって
心を動かせ！ Move your heart

【青年会岡分会つどい】

In 関西 2025年2月24日（月・祝）
場所／岡大教会 時間／14時～

In 九州 2025年8月30日（土）
場所／東松浦分教会 時間／14時～

【青年会心勇講 合同総会】

2025年11月30日（日）
会場／敷島大教会 時間／10時～

「誠を合言葉」に心勇講の青年会員が交流し
刺激しあい、互いに成人の歩みを
進めさせていただきましょう

写真で振り返る一カ月
11月 November
12月 December

外国人観光客へにをいかけ



ここ10年で4倍に増えていると言われる訪日外国人旅行者。世界遺産登録を目指す明日香村も例外ではなく、近年、村内の外国人観光客は増加傾向にあります。その影響からか、ここ最近、大教会を訪れる外国人観光客の姿が多く見られるようになりました。

大教会長様をはじめ、オーストラリア布教隊のメンバーが神殿当番などでは、率先して声をかけます。神殿を案内し、一緒に参拝。身上を抱える方には、おさづけを取り次がさせていただきます。



年の瀬恒例の大教会大掃除



年の瀬恒例の「大教会大掃除」は12月15日に実施され、26名が参加しました。主な掃除は、神殿と参拝場の「すす払い」。そのほか、外壁や軒などのくもの巣を取り除き、食堂厨房もお掃除しました。

「エンジョイサロン」開催



教祖年祭活動の心定めの一つに「楽しさと喜びを教会から発信」を掲げる岡谷分教会(森井正次会長)は11月30日、「エンジョイサロン」を開催。地域のママ友やこどもら32人が参加し、しめ縄づくりを楽しんだ。

この「サロン」は、同教会で不定期開催している「エンジョイクラブ(こども会)」に参加するママ友の発案。参加者への声掛けや会場準備、材料集めなどすべてをママ友らと連携して運営。反響も良く、来年も継続して「クラブ」と「サロン」を実施されます。



婦人会 岡支部

婦人会総会開催し教祖年祭へ弾み 6年ぶりの開催に各地より453人が参集

婦人会岡支部(吉田陽子支部長)は10月24日、大教会で「婦人会岡支部総会」を開催。関西をはじめ、九州や関東などの各地から453人が参加した。教祖140年祭、そして大教会の創立130周年記念祭に向けて、「感謝の心で教会へ参拝しよう」、「喜びの心でひのきしんをしよう」、「信仰のバトンをつなごう」とのスローガンを掲げる岡支部。大教会やおぢばへの伏せ込みひのきしんをはじめ、おつとめを通して信仰を深める「岡結びのつどい」の開催、「盛華会(40歳までの既婚女性の会)」や女子青年活動を通して、きめ細やかな丹精が続いている。

今総会では、婦人会河原町支部長の深谷靖子先生を講師に迎え、記念講演を実施。経験談を通してお話しくださる深谷先生から、「ぢばの理」、「をやる理」を頂くための大切な信仰の角目を学び、教祖140年祭の節目に必要な心の持ち方を再確認した。

「婦人会本部祝いのことば」や大教会長様の祝辞を頂いた式典後は、大教会神苑でアトラクションを開催。男性ひのきしん者による8種類の模擬店が用意されたほか、各教会から趣向を凝らした出し物が披露された。



▲記念講演で、信仰の角目についてお話しくださる深谷靖子先生(写真左)。屋外でのアトラクションでは、「唐津くんち(写真右)」や「博多どんたく」、カラオケなど、多彩な出し物で盛り上がりを見せた。

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区 大教会ひのきしん（岡谷・眞世・南湖）
6日	岡心勇隊奈良中和 岡心勇隊五條橋本（あやの台）
8日	岡心勇隊八幡地区 大教会ひのきしん（道弘）
15日	岡心勇隊大阪地区 大教会ひのきしん（相嘉）
21日	祭典準備ひのきしん 大教会ひのきしん（表野・飛鳥川・岡秋）
22日	婦人会伏せ込みひのきしん 大教会月次祭
23日	婦人会詰所ひのきしん 大教会ひのきしん（東松浦・西北）
23日	各部各会議 詰所ひのきしん日
25日	本部月次祭 岡心勇隊姪浜会場
26日	おぢば伏せ込み団参（午前中）
30日	第一日曜日

▼その他の行事予定▲

2月	1日 婦人会創立記念のつどい（福岡会場） 5日 婦人会創立記念のつどい（東松浦会場） 24日 祭儀式研修会 岡分会のつどいin関西 25日 登殿参列
----	--

3月	1日 婦人会別席強調月間 4日 婦人会別席強調月間 10日 学生生徒修養会（大学の部） 12日 学生生徒修養会（高校卒業生コース） 24日 大教会春季霊祭 28日 春の学生おぢばがえり 30日 少年会岡団総会 31日 教会子弟練成会
----	---

4月	1日 婦人会別席強調月間 30日 教祖誕生祭・よろこびの大会 18日 天理教婦人会第107回総会 19日 全教一斉ひのきしんデー 29日
----	--

【訃報】



大教会役員
東松浦分教会三代会長

吉田 邦彦氏（94歳）
1月21日お出直し

葬儀は山内光男・東松浦分教会役員斎主のもと1月23日にみたまうつしが、大教会長様斎主のもと1月30日に告別式が東松浦分教会（佐賀市）で執り行われました。長年、教会長、大教会役員として道の御用の上に、また大教会の上に尽くされた氏の功績を讃え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。

〈吉田邦彦氏略歴〉

昭和5年3月15日生まれ。昭和23年おさづけの理拝戴、修養科修了、佐賀教務支庁書記。27年教師補命。36年教区青年会委員長。44年大教会青年。45年東松浦分教会会長。49年大教会役員。52年佐賀教区長。57年おつとめ奉仕人。59年本部詰員。平成5年布教部長。8年詰所主任。10年大教会信託者会館ふしん委員長。19年大教会責任役員などを務めた。

教務報

◆教養掛

2月 須光 光武 大和
3月 福門 村田 継明
4月 天神免 武藤 聡宏

◆修養科第100期修了者（12月27日修了）

東松浦 吉田 あゆみ

◆別席願（12月16日～2月15日受付分）

表田 住吉 泰人

表田 上田 もと
上 橘 藤本 美羽
表 時 上田 縁治
岡 吉田 英鷹
岡谷 増田 愛香

岡大教会連絡報

立教二八八年 三月号（二月二十三日発行）

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744) 54-2002
FAX (0744) 54-3889
E-mail info@oka.or.jp
188.2.23 / 068

TOPIC

年祭活動「仕上げの年」を勇んで

教会長夫妻が一同に会し「年頭会議」実施



▲今年の「年頭会議」は詰所で実施。今回、一新された大教会職務分掌では「丹精部」を新設。吉田政彦部長があいさつに立った。

教祖百四十年祭に向かう年祭活動も、いよいよ「仕上げの年」を迎えた。1月25日に詰所を会場に開催された「年頭会議」には教会長夫妻ら83人が参集し、「一手一つ」や「おぢば帰り」、「心定めの達成」などをテーマに意見交換。また、一新された職務分掌が発表され、各部各会の長が登壇。教祖年祭活動「仕上げの年」を勇んで歩む決意を新たにしました。

午後2時15分、岡詰所旧遥拝場を会場にスタートした「年頭会議」。まずは、修養棟の各部屋で13班に分かれ、ねりあいが行われた。ねりあいでは、昨年のご本部秋季大祭と今年の年頭における真柱様のお言葉を基に意見交換を実施。「信者さんと共に話し合い、方向性を決めている」や「簡単ではないが、一人ひとりがようぼくとしての心を定めることで見えてくるものがある」など、心定めの達成に必要な意見が出されたほか、「心をそろえるおつとめが、一手一つに向かう重要なポイント」や「心定め

の達成に向けて、心運び、身を運び、互いに手を取り合う気持ちが高めたい」といった思いが聞かれた。新職務分掌では、新たに「丹精部」を設置。「育成部」の再設置や「庶務部」を立ち上げるなど、細かく体制を整え、担当者を一。若年化を計り、フレッシュで柔軟な発想力と瞬発力のある実動を目指す一方、これまでの長年の経験から深められた信仰力による丹精を目指す。



▲ねりあいでは、活発な意見交換が行われた

写真で振り返る一カ月

1月 January
2月 February

敷島タイ心勇講



青年会岡分会（芝田善展委員長）は1月29日から2月3日にかけて、青年会敷島分会の「第24次タイ研修隊」に参加。芝田委員長のほか、森川稔之さん（西北）、森井大一さん（眞世）の計3名がタイのチェンマイへ赴きました。今回の研修隊では、昨年の水害で被害を受けたタイ心勇講の復興作業として、外壁のペンキ塗りや、倉庫の棚設置、コンクリート打ち等を実施。また、布教活動に歩いたほか（写真）、がんセンターでおさづけの取り次ぎをさせていただきました。



教祖年祭活動 新企画始動！



教祖140年祭に向かう年祭活動も、いよいよ「仕上げの年」を迎えました。大教会では今年の1月から、新企画として「教祖のお心にふれる」をスタート！張問道男・敷津分教会長を講師に、『天理教教祖伝逸話篇』を基にした15分の講話をお聞きいただけます。

開催は、毎月23日と26日の月2回。23日は大教会参拝場を会場に、大教会の月次祭前の9時30分から開始。また、毎月26日は詰所玄関ロビーにおいて、ご本部祭典前の時間を活用して実施されます。

婦人会創立記念の日のつどい



1月28日は婦人会創立記念の日。婦人会岡支部（吉田陽子支部長）では、関西や九州の4会場で「創立記念の日のつどい」を開催。大教会で実施された関西会場には21人が参加し、婦人会の元一日を振り返りました。



西北分教会

たすけ心で内へも外へも声かけを 創立111周年記念祭へ300人が参集

教会創立から111年の節目を迎えた西北分教会（森川祐三会長）は昨年11月30日、「創立111周年記念祭」を執行。各地から約300人が参集し、一手一つにおつとめを勤めた。

教祖140年祭に向かう年祭活動1年目の年、予定していた「創立100周年記念祭」が森川会長の身上により延期に。大教会長様の親心を頂く中で準備を進め、真柱様からお許しを戴き「創立111周年」として記念祭を執行できることになった。

当日、あいさつに立った森川会長は西北の元一日を振り返り、「それぞれの教会内容の見直しを図り、一人ひとりがたすけ心を出して、内へも外へも声をかけて通らせてもらわなくてはならない」と強調。その上で「たすかってもらいたい」という思いで歩みを進める事が、この記念祭をつとめる意味だ」と述べた。

祭典後に開かれた祝宴では、西北分教会の元一日にふれる事を目的に、森川ルイ初代会長の歩みを題材とした劇を上演。「劇を見て、西北の元一日を初めて知った」という声が聞かれる中、会場は感動の涙と勇んだ熱気に包まれた。また、少年会員や女子青年によるオーブンダンスや、「マツケンサンバ」に合わせた婦人会員のダンスが祝宴に華を添えた。

いよいよ年祭活動も3年目。創立記念祭を通して歴代会長や先人の歩みを振り返り、先達の思いを再確認した参加者たち。「我を忘れて打ち込んで、神様にもたれてつとめ切らせていただこう」との大教会長様のお言葉に、「親の思いに添い、ご安心いただき、お喜びいただけるように」との誓いを添え、大きな万歳三唱をもって記念祭を締めくくった。



▲挨拶に立ち、教会創立の元一日と記念祭の意味について話を進める森川会長。



▲大教会長様ご夫妻や来賓の掛け声にあわせて鏡開き。参拝場では盛大な祝宴が開かれた。



ゝ縁の下、で選手を支え
甲子園で全国デビュー！！



3月18日から始まった「第97回選抜高等学校野球大会」。天理高校野球部も出場した今大会で、注目を集めている高校があります。カタカナ表記が印象に残る初出場校の、エナジックススポーツ高等学院です。創部3年目での甲子園出場。21日の初戦では、至学館（愛知）を相手に8-0で完封勝利するという、衝撃的な全国デビューを白星で飾りました。

沖縄県代表として出場した同校野球部。監督があえてサインを出さないゝノーサイン野球、でも注目を集めています。チームは全寮制で、選手が主体的に練習に取り組みます。

そんな野球部員の生活面を支えているのが、筑八分教会ようぶくの鎌田武治さん。同校通信制課程の教頭、社会科の教諭を務める傍ら、同部のコーチとして主に選手の生活面をサポートしています。

学校と寮生活の24時間を選手と共に過ごす鎌田さん。ゝ縁の下の力持ち、が、今回の甲子園出場を大きく支えています。

岡分会の集い in 関西を開催



2月24日、青年会岡分会（芝田善展委員長）は「岡分会の集い in 関西」を開催。主に関西在住の青年会員16名が参加した。

この「集い」は、教祖年祭はもちろんの事、11月30日に敷島大教会で開催される「青年会心勇講総会」に向けて意気を高めるために開催されたもの。当日は、青年会敷島分会の副委員長と委員を講師に迎えて「心勇講総会」をPR。感話やねりあいのほか、親睦会でお互いの交流を深めた。

中でもねりあいでは、自分で質問を考えて相手の意見を聞く「クロストーク」を実施。普段感じている疑問や質問が積極的に飛び交い、教祖年祭に向けた自分自身の歩み方と向き合う時間となった。

次回、8月30日には東松浦分教会を会場に「in 九州」を開催予定。また、「心勇講総会」関連行事として、ひのきしん隊に年間延べ1千人の入隊を目指す「NOBESEN」や「心勇講セミナー」、心勇講教会巡りツアー「大教会へ行こう」などが開催される。詳細は、青年会岡分会まで。



岡瀧分教会

節目の年を迎えさらなる飛躍を！ 一手一つに創立100周年記念祭を執行

岡瀧分教会（常道祐毅会長）は昨年11月16日、創立100周年記念祭を執行。約100人が参集し、賑やかに、そして一手一つにおつとめを勤めた。100年という大切な節目を迎えた常道会長は「歴代会長様をはじめ、先人先生方の長年の伏せ込みのおかげでこの日を迎えることができた。感謝と御礼の気持ちで胸がいっぱい」と話す。

岡瀧分教会では翌月、創立記念祭を迎えさせて頂けたお礼参拝として「おぢばがえり団参」を実施。11月24日に開催された「婦人会岡支部総会」へ、部内の瀧登分教会と併せて18人が参加し、おぢばへ帰った。

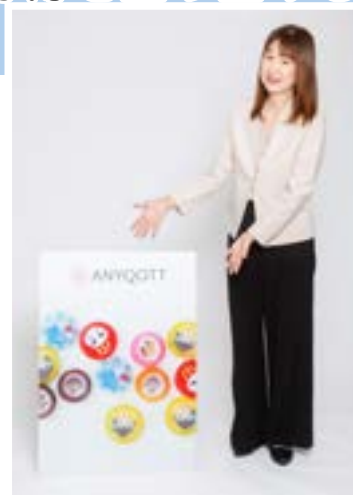
いよいよ教祖年祭活動も「仕上げの年」。常道会長は「教会につながる皆さんと更なる飛躍の決意を固め、教祖140年祭にむかつて勇み心に拍車をかけたい」と意気込む。

日本伝統技術「組飴」で大阪・関西万博を盛り上げる

上田康世さん（岡谷分教会）

奈良市を拠点に、組飴を使った土産商品の販売を行っている上田康世さん（岡谷分教会）。4月13日から半年間開催される「EXPO2025 大阪・関西万博」で、公式ライセンス商品の販売に携わることになりました。

「組飴」は日本の伝統技術で、発祥は江戸時代中期。飴細工の技法の一つで、「金太郎飴」や「元禄飴」などでよく知られています。古都奈良で生まれ育ち、伝統的な「組飴」に強い思い入れを持つ上田さん。万博ではどのような組飴がお披露目されるのでしょうか。皆さんもぜひ、大阪・関西万博で見つけてみてください。



一手一つに「少年会総会」を開催

「みんなで作り上げる」をスローガンに300人が参加



少年会岡岡（吉田直弘团长）による春の恒例育成行事「少年会岡岡総会」が、今年も盛大に開催され、少年会員138人を含む合計321人が参加した。

初日は、午前11時に開会式とオリエンテーションが行われ、午後はおつとめ練習や、教祖のひながたにふれる「ツアーズ」を実施。「おてふり」や「鳴物」、「総合練習」、「お楽しみ」のクラスに分かれて総会当日の最終練習を行った。また午後2時には、大教会で毎日つとめられている礼拝とお願いとともに参加。大教会長様より「おやさまのお話」を聞かせていただいた。

夕食、夕づとめを終えた



▲「ツアーズ」では、お楽しみ行事を通して、教祖のひながたにふれた。

午後には、食堂ホールを会場に9種類の模擬店が用意され、鼓笛隊のオープニングでアトラクションがスタート。有志による出し物が披露されたほか、終盤には豪華景品が当たる大抽選会を実施。抽選に一喜一憂し、おおいに盛り上がった。

競い合い、交流を深めた。総会当日の二日目には、当日参加の少年会員が続々と集合。大教会長様をはじめ、夜は、みんなが楽しみにしている「オカリンピック」が開幕！色別対抗でチーム一丸となって



▲「おつとめまなび」では、一生懸命に練習してきた成果を、親神様・教祖にご覧いただいた。

岡大教会連絡報

立教一八八年 五月号（四月二十三日発行）

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744) 54-2002
FAX (0744) 54-3889
E-mail info@oka.or.jp
188.4.23 / 070

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区 大教会ひのきしん（岡谷・眞世・南洲）
6日	岡心勇隊奈良中和 岡心勇隊五條橋本（あやの台）
8日	岡心勇隊八幡地区 大教会ひのきしん（道弘）
13日	岡心勇隊大阪地区 大教会ひのきしん（相嘉）
15日	祭典準備ひのきしん
21日	大教会ひのきしん（表野・飛鳥川・岡秋）
22日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭 婦人会話所ひのきしん
23日	大教会ひのきしん（東松浦・西北）
24日	各部各会会議 話所ひのきしん日
25日	本部月次祭
26日	岡心勇隊姪浜会場
30日	第一日曜日 おぢば伏せ込み団参（午前中）
教養掛	6月 西北 森川 稔之 7月 西大阪 丸田 真久
別席願	（3月16日～4月15日受付分） 嘉殿 早原 京子 須光 木佐木 実果

▼その他の行事予定▲

5月 1～31日 大教会一斉巡教（6月末まで）
東松浦合同総会
縦の伝道講習会
大教会山の整備ひのきしん
道弘分教会創立100周年記念祭
よつぽく一斉活動日

6月 1日 よつぽく一斉活動日
1～30日 大教会一斉巡教
28日 第2回岡のつどいin関東
28～29日 婦人会委員長後継者講習会

◆おさづけの理拝戴
（3月16日～4月15日受付分）
上橋 藤本 優大
須光 木佐木 結衣
飛鳥川 宮崎 紫央音

岡大教会別席団参 立教188年10月25・26日

大教会一斉巡教のお知らせ

丹精部

教祖年祭活動「仕上げの年」を迎え、岡大教会丹精部（吉田政彦部長）では5月から6月にかけて、部内教会への一斉巡教を実施します。今回の一斉巡教は、「おぢば帰りの促進」と「日々の教祖ひながた実践」を通して、年頭の心定め達成を目指すもの。その足がかりとして、10月25日、26日には「岡大教会別席団参」を実施いたします。

Go! Go! OKA

布教部（蓮池弘之部長）では、5月を実動強化月間とし、ひのきしんを各所で実施します。詳細は下のQRコードを読み取ってください。



教祖 140年祭
大教会長様ご臨席
小平尚典氏特別講演！

岡のつどいin 関東

日時／令和7年6月28日（土）
午前11時スタート
会場／天理教岡瀧分教会
飯能市落合319-1
参加御供／1,000円
持ち物／ハッピー、白足袋

【お問合せ】
天理教岡瀧分教会（常道久雄）
TEL／042（974）3640



春の学生おぢばがえり



〴〵道の学生、が集う「春の学生おぢばがえり（春学）」。4月28日には本部中庭で行われた式典に臨みました。午後の「直属アワー」では、教区参加の学生も詰所に合流。ランチやゲームなどで盛り上がりました（写真）。

オーストラリア布教隊



教祖誕生祭が勤められた4月18日、詰所を会場にオーストラリア布教隊が模擬店を実施。鉄板焼き鳥や飲み物などを用意し、婦人会総会に帰参したご婦人方を中心に楽しんでいただきました。今年も第10次隊を予定していますので、どうかご支援をお願いします。

大教会春季霊祭を執行



3月24日に執り行われた大教会の春季霊祭。祭儀では、大教会長様祭主のもと、祖霊様の御前で祭文を奏上。春休みに入り、子供たちを含む大勢の参拝者が先人のご遺徳を偲び、ご功績にお礼を申し上げました。

初の年祭活動を歩む教会長



教祖年祭活動も〴〵仕上げの年、を迎え、教内の布教、求道の熱も一段と盛り上がりを見せています。大教会でも各部各会による行事を通して意気を高め、丹精に向けた力が込められています。

そんな中、大教会では月次祭祭典後の神殿講話に、「教会長」として初めて教祖年祭を迎える〴〵若手、が登壇。「初の年祭活動を生きる教会長の今」と題して、年祭活動の歩みを紹介している。3月は、上田時弘・表時分教会長、金武直子・香蘭分教会長が登壇した。



▲夜のねりあいで「転輪王講社」について学び、翌日には実際に現地を見学。秀司様の足跡をたどった。

大教会

互いの絆深める子弟練成会 教祖のひながたにふれ、信仰をみつめる

中学生の教会長子弟らを対象に、趣向を凝らしたプログラムで開催されている「子弟練成会」。これまで大教会主体行事として開催されてきたが、育成部が立ち上がった今年から同部が担当することになった。「同世代の、道の仲間」と出会う中で互いの信仰と交流を深め、期間中の体験を通して教祖のひながたにふれ、学んだことを日常生活で実践できるきっかけづくりを目指したい」との思いのもと開催された。

3月31日の「少年会岡岡総会」終了後から、プログラムがスタート。夕づとめ後のねりあいでは、教祖のひながたをたどる一環で「転輪王講社」の設置に関する天理教史を勉強。教祖が激しく反対される中、教祖や信者さんを守るために、命を賭して行動に移された教祖の長男・秀司様のお姿を学んだ。

翌日は、秀司様が「転輪王講社」設置のために赴かれた「蔵王堂」と「地福寺」を見学。途中、約10kmを徒歩で移動し、秀司先生の足跡をたどった。

3日目は、交流行事として淡路島へ。今話題の「ニジゲンノモリ」でアトラクションを楽しみ、楽しいひと時を過ごした。

教祖140年祭 「登殿参列」

教祖140年祭に向かう年祭活動中に実施されている、ご本部月次祭での「登殿参列」。2月には8名の教会長が参列し、ご本部神殿の結界内でかぐらづとめを拝した。

2月の参列者は森井正次（岡谷）、江里道孝（住之都）、武藤聡宏（天神免）、高場純貴（東志免）、牧大介（呉服町）、由良野志津（肥陽）、常道祐毅（岡瀧）、常道登美雄（瀧登）。



素敵なランチで心ウキウキ♪

婦参者で賑わう詰所を目指し、婦人会が特別企画



天理教婦人会第107回総会が開催された4月19日、婦人会岡支部（吉田陽子支部長）では総会終了後に、詰所を会場に「ウィンコンランチ」を開催。婦人会員のみならず、老若男女約70人の婦参者で賑わった（写真）。

毎年、総会後には記念行事として「支部の集い」が開催されていたが、今回は別日に会場を増やして実施することになった。「総会への参加だけでなく、おちばにお帰り頂いた方々に少しでも楽しい雰囲気になれ、喜んでいただきたーい」との思いから、今回の「ランチ」を企画。「和風パスタ」や「クリームパスタ」のほか、「ハッシュドビーフ」、「デザート」など、手作りメニューで婦参者をもてなした。

当日は、詰所の食堂がランチ会場に。食事のほか、バザーも開催され大賑わい。美味しい食事をとりながら、おしゃべりにも花が咲き、ランチのひと時を楽しんだ。

ランチの準備は婦人会が一手に担い、前日から仕込みを実施。担当の森川誠子委員は「活気のあるランチとなり、皆さん本当に喜んでくださったと思う。教祖年祭に向けて『動くぞ！』と思った」と話す。

教祖140年祭企画

私の年祭活動

「生活の中にあふれるご守護や、不思議を感じる私たちの感性が鈍くなっている気がする」。そう話すのは、相嘉分教会の安井一夫会長（写真中央）。「ワシもいい歳やから……」とはにかみながらも、それでも「神様を目標に判断できる心は養い続けたい」と語気を強める。

昨年末、相嘉分教会の役員会議で「ご本部回廊ひのきしん団参」の声を上げた。そこには、先の思いに加えて「おちばに帰り、ひのきしんさせていただくと心がスッと爽やかになり、信仰信念がリセットされる」との気持ちがこもる。教祖年祭当日まで、一度でもたくさん教祖のもとへ帰りたい。この道の信仰信念に、歳は関係ない。



岡大教会連絡報

立教一八八年 六月号（五月二十三日発刊）

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744) 54-2002

FAX (0744) 54-3889

E-mail info@oka.or.jp

188.5.23 / 071

R188 Event Information

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
6日	大教会ひのきしん（岡谷・眞世・南洲）
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本（あやの台）
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん（道弘）
18日	岡心勇隊大阪地区
21日	大教会ひのきしん（相嘉）
22日	祭典準備ひのきしん
22日	大教会ひのきしん（表野・飛鳥川・岡秋）
22日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
23日	婦人会詰所ひのきしん
23日	大教会ひのきしん（東松浦・西北）
24日	各部各会会議
25日	詰所ひのきしん日
26日	本部月次祭
30日	岡心勇隊姪浜会場
第一日曜日	おちば伏せ込み団参（午前中）

教務報

◆教養掛

7月 西大阪 丸田 真久
8月 杵島 原 秀喜

◆別席願（4月16日～5月15日受付分）

飛鳥川 出口 音々
南洲 保井 宏文
表田 河合 フサ子
表田 上田 結心
岡瀧 菅野 愛那
岡瀧 菅野 夢那

◆おさづけの理拝戴

（4月16日～5月15日受付分）
福門 石丸 愛

▼その他の行事予定▲

6月 1日 ようばく一斉活動日

1～30日 大教会一斉巡教（丹精部）
28日 第2回岡のつどいin関東
28～29日 婦人会委員長後継者講習会

7月 27～8/3日 こどもおちばがえり

めばえコーナー

HAPPY BIRTHDAY
ご誕生
おめでとうございます

上田 喜成くん（令和7年3月19日生）



上田時弘さん、ゆかりさんの五男として生まれました。よろしくお願いします。

（表時分教会）

心勇講 全員集合

青年会長様ご臨席
青年会心勇講合同総会
於 教島大教会

立教188年[2025] 11月30日(日)
10時 おつとめまなび / 式典 / 記念行事（心勇FES）



創立100周年のおはこび



春の陽気に包まれた4月26日、「臨時祭典願（創立記念祭）」のおはこびを実施した道弘分教会（高野英士会長）。記念祭当日に向けて話し合いを重ね、5月25日に「創立100周年記念祭」が執り行われます。

教祖のお心にふれる



Youtubeは
こちらから
↓↓↓



毎月23日の大教会月次祭前と、26日のご本部月次祭前に実施されている「教祖のお心にふれる」。張間道男・敷津分教会長を講師に、毎回「天理教教祖伝逸話篇」をもとに約15分の講演が行われています。内容はYoutubeにもアップロードしています。

神名流しで理づくり(盛華会)



関西と九州の3会場で毎月、日を決めて活動している「盛華会」。4月27日には、大教会に集まった17名(少年会員を含む)が「ねりあい」と「パースデーカード作成」を実施。活動の最初には、大教会の正門前で神名流しも行いました。教祖140年祭も目前。「自らも信仰を深め、わが子へも伝えたい」との思いが込められています。

初の年祭活動を歩む教会長



教祖年祭活動も`仕上げの年、を迎え、教内の布教、求道の熱も一段と盛り上がりを見せています。大教会でも各部各会による行事を通して意気を高め、丹精に向けた力が込められています。

そんな中、大教会では祭典後の神殿講話に、「教会長」として初めて教祖年祭を迎える`若手、が登壇。「初の年祭活動を生きる教会長の今」と題して、年祭活動の歩みを紹介している。4月は、山内健司・芦刈分教会長、丸田真久・西大阪分教会長が登壇しました。



▲今年の総会には145名が参加。3交代によるおつとめを、参加者全員で一手一つに勤めた。

東松浦分教会

陽気な雰囲気の中総会開催 準備から片付けまで一手一つに心を込めて

東松浦分教会（吉田政彦会長）ではこどもの日の5月5日、婦人会、青年会、少年会による「東松浦合同総会」を開催。少年会員43名を含む、合計145名が参加した。新緑が芽吹く初夏の陽気となった当日、座りづとめ、前半下り、後半下りの3交代でおつとめが勤められ、各教会がそれぞれの役割を担当。事前にお稽古を重ねてきた甲斐もあって、一手一つに心勇んだおつとめとなった。

恒例となっている屋外ステージでのお楽しみ行事では、今年も「ブレゼント抽選会」を実施。抽選結果に一喜一憂することも達の元気いっぱいな歓声で会場は盛り上がり、賑やかな時間を楽しんだ。

また、前日の準備ひのきしんには、早朝から約40名が駆けつけ、合同総会の設営準備だけではなく、境内地の清掃も併せて実施。一人ひとりが笑顔で、心を込めて汗を流すひのきしんの姿は、まさに陽気ぐらしを感じさせた。

教祖140年祭

「登殿参列」

教祖140年祭に向かう年祭活動中に実施されている、ご本部月次祭での「登殿参列」。4月には10名の教会長が参列し、ご本部神殿の結界内がかぐらづとめを拝した。

参列者は前列右より蓮池弘之（表野）、吉田政彦（東松浦）、村田継明（福門）、井上明生（筑八）、田原太郎（警固）。後列右より光武大和（須光）、藤本豪志（嘉殿）、半田邦興（肥東）、田中康温（筑後川）、丸田真久（西大阪）。



教祖140年祭へ意気高まる 大教会創立記念祭への気運も

「教祖年祭は『伏せ込みの旬』『おたすけの旬』」とのスローガンのもと、教祖140年祭に向けて「教えの実践」や「ひのきしん活動」、「にをいかけ実動」、「おぢば帰り」に関する活動方針を打ち出してきた大教会。年祭活動も残り半年となる中、大教会をはじめ各所で活発な歩みが進められている。また大教会創立記念祭をちょうど一年後に控えた5月24日には、信者会館南側に看板を設置。教祖年祭に向けた意気の高まりに加え、大教会創立記念祭への気運も高まる。



福岡会場では、福岡教区の教友と共に「博多どんたく」後の清掃を実施した。

福岡会場では、福岡教区の教友と共に「博多どんたく」後の清掃を実施した。



信者会館のふすまの張替えを行う様子

各教会が日を決めて実施する「大教会伏せ込みひのきしん」。教会によっては数十年前から行われている伏せ込みだが、教祖年祭の旬にあるいま、その和が一層広がっている。大教会長様は「この和が、一人ひとりの成人につながる」と話す。

新体制となった布教部（蓮池弘之部長）は、5月を「実動強化月間」と位置づけ、「Go! Go! OKA」を企画。「街中のひのきしんで、一人ひとりの実動にはずみを

つけよう！」と呼びかけ、関西や九州の4カ所で行った実動を展開した。「ひのきしんを通じた布教活動」を目指した今回の企画では、教会周辺や日頃の「にをいかけエリアでの実動のほか、イベント会場や支部活動とのタイアップなど趣向を凝らした。

「まずは気運の高まりになれば」と蓮池部長。9月の「全教会布教推進月間」に向けても準備が進められ、教祖年祭に向けて布教実動に拍車をかける。

「Go! Go! OKA」実施

岡大教会布教部

岡大教会連絡報

立教一八八年 七月号（六月二十三日発行）

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744) 54-2002
FAX (0744) 54-3889
E-mail info@oka.or.jp
188.6.23 / 072

創立記念祭の看板を設置

大教会の創立130周年記念祭を一年後に控えた5月24日、創立記念祭を広くアピールする看板が信者会館南側に設置された（写真）。



紫色の背景に、力強く書かれた白い文字がよく映える看板。一年後の創立記念祭に向けて、気運を高めた。

広がる伏せ込みの和

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区	（岡・岡谷・眞世・南洲）
6日	大教会ひのきしん	
8日	岡心勇隊奈良中和	
9日	岡心勇隊五條橋本（あやの台）	
13日	岡心勇隊八幡地区	
15日	大教会ひのきしん（道弘）	
18日	岡心勇隊大阪地区	
21日	大教会ひのきしん（相嘉）	
22日	祭典準備ひのきしん	
22日	大教会ひのきしん（表野・飛鳥川・岡秋）	
22日	婦人会伏せ込みひのきしん	
23日	大教会月次祭	
23日	婦人会話所ひのきしん	
24日	大教会ひのきしん（東松浦・西北）	
25日	各部各会会議	
26日	婦人会話所ひのきしん	
26日	大教会月次祭	
30日	岡心勇隊姪浜会場	
第一日曜日	おぢば伏せ込み団参（午前中）	

▼その他の行事予定▲

7月 27日 8/3日 こどもおぢばがえり

8月 7/27日 3日 こどもおぢばがえり

※「ふれあい広場」は2日まで
9月 9日 13日 学生生徒修養会（高校の部）
23日 25日 雅楽講習会（関西会場）
30日 岡分会つどいIN九州

教務報

◆教養掛

8月 杵島 原 秀喜
9月 東松浦 吉田 忠実

◆修養科第1005期修了者（5月27日修了）

杵島 江上 さくら

◆教人登録（5月24日付）

西北 森川 千鶴

◆別席願（5月16日～6月15日受付分）

飛鳥川 出口 翔太
芦刈 山崎 朝枝
芦刈 古賀 トキ子
南阿太 坂本 絹世

この夏、とっておきの出会いがキミを待っている！

学生生徒修養会 高校の部

GAKUSYU for Highschool Students

全国から高校生がおぢばに集まり、さまざまなプログラムを通してお道の教えを学び、実践します。班員と共に過ごす日々は、不安と緊張の出会いから、やがてかけがえのない友情を育み、最高の感動が味わえます！

詳細は
こちらから
↓↓↓



【訃報】



住之都分教会
3代会長

江里道治氏（90歳）
5月4日お出直し

葬儀は吉田政彦・東松浦分教会長斎主のもと、5月5日みたまうつし、6日告別式がサンレー北九州紫雲閣（北九州市）で執り行われました。長年、教会長として道の御用の上に尽くされた氏の功績を讃え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。

5年越しの念願が叶ったおちば帰り オーストラリア布教隊メンバーが案内

新型コロナウイルスによるパンデミックに翻弄され、叶わなかったおちば帰り。5年の時を経て、思いが現実になりました。

オーストラリア布教隊が立ち上がった2013年。アンドリューさん（写真中央）とは、第1次隊でのにをいかけ先で出会いました。現地実動の際は必ず連絡を取り合い、現在もおさづけの取り次ぎなどに通わせていただいています。

アンドリューさんがパートナーとの旅行を計画したのは2019年。「おちば帰り」の約束もしていましたが、コロナ禍で訪日を断念。今回



5年越しにおちば帰りが叶いました。

皆様の後押しで成り立つ布教隊。これからも「拠点設立」を目指し、心を込めて頑張ります！なにとぞ引き続き、ご支援をお願いいたします。



心を込めて力強く揮毫



大教会信者会館南側に掲げた「岡大教会創立130周年記念祭」の看板。白字で書かれた文字は、由良野志津・肥陽分教会長が担当。「緊張した〜！」と由良野会長。大教会長様が見守る中、素敵な看板に仕上がりました。

縦の伝道講習会を開催



「こどもおちばがえり」を2カ月後に控えた5月の大教会祭月次祭了後、少年会岡団（吉田直弘団長）は「縦の伝道講習会」を開催。約130人が参加しました。

少年会活動の意義や活動方針の徹底を図るために開催されているこの「講習会」。講師として登壇した少年会本部委員の松永多加志先生（南大教会長）は、少年会活動の重要性に言及。自身の幼少期の思い出や、子育てに携わる親として立場から、縦の伝道と成人の歩みについて話を進めました。



ツアーには各大教会から41名が参加（写真左）。流しそうめんなどの食事を楽しんだ（写真右）。



青年会岡分会

心勇講の「仲間、が大教会へ 大教会へ行こう！！ツアーを開催

今年11月30日に、敷島大教会を会場に開催される「青年会心勇講合同総会」。この総会の関連行事として現在、心勇講に元を同じくする9つの大教会を巡るツアーが開催されている。

6月15日は、明和大教会と岡大教会がツアー先。午前中に明和大教会を訪れた一行41人は、11時30分に岡大教会に到着。神殿を参拝した後、吉田直弘・大教会長職務代理が大教会の歴史を説明した。

引き続き参加者らは、岡大教会創立130周年記念祭に向けて制作が進められている「親神様御社制作所」を見学。お社の大きさや制作期間、部材の加工方法など、さまざまな質問が飛び交った。

昼食は、神殿前の屋外で実施。明和大教会がフランクフルトやバーベキューを準備する中、岡大教会は得意の流しそうめんを用意。ちょうどこの日、練習に励んでいた岡大教会の鼓笛隊員も合流し、終始賑やかなツアーとなった。

大教会創立130周年記念祭に向けて 親神様お社制作着々と

大教会の創立記念祭にむけて、制作が進められている親神様のお社。まだまだ見た目にその形はわかりませんが、各所の部材の加工が進められています。

今回、制作されるお社は高さ約3.6メートル、幅が約3.5メートル。大教会創立120周年記念祭に合わせて作られた、教祖のお社の約1.5倍に相当します。

連日、「親神様御社制作所」からは、部材を加工する音が聞こえてきます。



大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区 大教会ひのきしん	(岡・岡谷・眞世・南洲)
6日		
8日	岡心勇隊奈良中和 岡心勇隊五條橋本(あやの台)	
9日	岡心勇隊八幡地区 大教会ひのきしん(道弘)	
13日	岡心勇隊大阪地区 大教会ひのきしん(相嘉)	
18日	祭典準備ひのきしん 大教会ひのきしん(表野・飛鳥川・岡秋)	
21日	婦人会伏せ込みひのきしん 大教会月次祭	
22日	婦人会詰所ひのきしん 大教会ひのきしん(東松浦・西北)	
23日	各部各会会議 詰所ひのきしん日	
25日	本部月次祭 岡心勇隊姪浜会場	
26日	おぢば伏せ込み団参(午前中)	
30日		
第一日曜日		

▼その他の行事予定▲

9月
1~30日 全教会布教推進週間
※岡大教会布教部では「パトシ布教」を予定。ぜひご参加ください。
23日 家族参拝デー
24日 大教会秋季霊祭
24日 おつとめ勉強会
28~30日 全教一斉にをいがけデー

10月
24日 吉田つる様30年祭
※岡大教会4代会長夫人・同代務者
25日 天理教青年会第99回総会
岡盛華会の集い
25~26日 岡大教会別席団参

▼KOG帰参隊一覧▲

- ・ASKA隊/149名 (岡・飛鳥川、岡谷、眞世、南洲)
- ・表野表田隊/113名(表野、表田)
- ・表時隊/50名
- ・忍海隊/13名
- ・東松浦隊/10名(東松浦、住之都)
- ・杵島隊/3名
- ・ひがししめ隊/38名(東志免、東水町)
- ・東松浦大阪隊/4名
- ・都勇心隊/5名(住之都)
- ・西北隊/16名
- ・筑八隊/15名
- ・肥里隊/4名
- ・岡秋岡村隊/33名(岡秋、岡村)
- ・おかたきと隊/28名(岡瀧、瀧登)
- ・福門隊/9名
- ・南阿太隊/90名
- ・鼓笛隊/49名
- ・道弘隊/10名
- ・貞元隊/9名
- ・西大阪隊/8名
- ・南洲隊/9名

※順不同、運営局把握分、人数は速報値です

教務報

◆本部食堂ひのきしん

7/1~7/7 福門川口 尚子
7/8~7/15 松ヶ江内田 勝

◆おさづけの理拝戴願

(6月16日~8月15日受付分)

飛鳥川 出口 翔太
表時 米澤 一雅
芦刈 陣川 伸明
住之都 江里 耕介

◆修養科第1006期修了者(6月27日修了)

東松浦 森 永健一
東志免 川村 優奈
肥里 樋口 しづか
道弘 吉井 道信

◆修養科第1007期修了者(7月27日修了)

西北 木村 友哉
芦刈 陣川 美由紀
岡瀧 菅野 愛海

岡大教会連絡報

立教二八八年 九月号(八月二十三日発刊)

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所 高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
188.8.23 / 073

TOPIC

真夏の祭典「こどもおぢばがえり」 恒例の「ふれあい広場」も大盛況



▲たくさんの人で賑わう「ふれあい広場」模擬店ブースの様子。

照りつける太陽に、はじけるこども達の笑顔。7月27日から8月3日にかけて開催された「こどもおぢばがえり」には、岡大教会部内教会からのべ1千220名(うち少年会員521名)が帰参。詰所で開催された「ふれあい広場」には、外部団体も合わせて1千533名が来場した。



▲会場設営は青年会が主に担当。

今年が初日は日曜日ということもあり、前半期間に帰参が集中。そのため、

「ふれあい広場」は7月27日から31日の間にすべての模擬店を実施。8月1日と2日は、ゲームコーナーやドリンクコーナーを中心とした、室内会場のみの実施となった。期間中は「岡大教会こどもおぢばがえり運営局(蓮池弘之運営局長)」を立ち上げ、各部署ごとに連携を取って準備。詰所宿泊の受け入れのほか、おぢば帰りに必要不可欠な輸送や食事、「ふれあい広場」の設営や食材準備など、長年の経験を生かしたきめ細やかな体制が整えられた。

▼やっぱり人気は「ゲームコーナー」。昔懐かしい射的の様子。



今年も地元中学生と一緒に国際交流 夏季日本語講座参加の海外学生らと

天理大学が海外交流協定を結ぶ大学などから、日本の文化や言語を学ぶために学生らが来日する「夏季日本語講座(天理大学主催)」。

今年も、プログラムで計画されている明日香村来訪のお世話取りを、地元中学生の協力を得て実施し、交流を深めました。

当日は、大教会で参拝の後、食堂ホールで各班に分かれて自己紹介。クイズなどの班対抗ゲームを通して、中学生らと交流を深めました。



その後、一行は奈良県立万葉文化会館を見学し、再び大教会へ。神苑で実施したバーベキューや流しそうめんなどを楽しみ、日本の食文化にもふれました。



詰所の塀を新たに塗装



大教会創立130周年記念祭に向けた整備事業の一環として、詰所周辺の塀のペンキ塗りが行われました。「せっかくなら『こどもおちばがえり』に間に合わせたい」との思いから、猛暑が続く7月に実施されました。

学修、高校の部に11名参加



「こどもおちばがえり」と並んで、夏の恒例行事として開催されている「学生生徒修養会・高校の部」。今年は8月9日から13日にかけて開催され、岡大教会から11名が参加。暑いおちばで、熱く信仰を語り合い、互いの親交を深めました。

その他の開催行事はこちらから

天理教岡大教会
LINE 公式アカウント

「大教会連絡報」で紹介しきれない情報を写真付きで配信しています♪



関東在住の教友が集う今回の「つどい」では、小平尚典氏(写真右)による記念講演が実施された。



大教会
岡のつどい
in 関東

関東の教友が一堂に会して フォトジャーナリスト小平尚典氏の特別講演も

6月28日、岡瀧分教会(埼玉県飯能市)を会場に「岡のつどい in 関東」が開催され、関東近郊から45名が参加した。

当日は、大教会長様ご臨席のなか、座りづとめが勤められ、一言はなしを交えての自己紹介を実施。その後、フォトジャーナリストで『天理時報』で連載していた小平尚典氏の特別講演が実施された。

小平氏は講演で、松下電器産業(現パナソニック)創業者の松下幸之助氏と天理教との出会いについて紹介。天理教の教理を通じて会社の基本理念が生まれたエピソードなどを話した。

「つどい」当日は、遠くは車や電車で約4時間かけて参加した教友も。開催担当の常道久雄・大教会役員は「熱心な皆さんの姿に、力強い信仰力を感じた。目前に迫る教祖百四十年祭に向けて、ご存命の教祖にご安心、お喜びいただける歩みを誓い合った」と話す。

親神様・教祖へ練習の成果を御供

最高の演奏演技で金賞獲得

「岡団鼓笛バンド、アルバトロス、ゴールド!金賞」。審査発表のアナウンスが流れた瞬間、鼓笛隊員たちから大きな歓声が流れました。中には、「最初の一步をミスしたから不安だった」、「音を少し間違えたから……」と涙を流すこども達も。それでも、一生懸命に練習に取り組んできた1年の成果を親神様・教祖に御供し、つかみ取った最高の金賞!鼓笛活動を通してまた一つ大きくなったこども達の夏の思い出は、素敵な音色に包まれました。



大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
6日	大教会ひのきしん (岡・岡谷・真世・南洲)
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本(あやの台)
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん(道弘)
21日	大教会ひのきしん(相嘉)
22日	祭典準備ひのきしん
22日	大教会ひのきしん(表野・飛鳥川・岡萩)
22日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
23日	婦人会詰所ひのきしん
24日	大教会ひのきしん(東松浦・西北)
25日	詰所ひのきしん日
26日	本部月次祭
30日	岡心勇隊姪浜会場
第一日曜日	おちば伏せ込み団参(午前中)

R188 Event Information

▼その他の行事予定▲

10月	
1 〜 21日	大教会直属巡教
24 日	吉田つる様30年祭
25 日	※岡大教会4代会長夫人・同代務者 第99回天理教青年会総会 岡盛華会の集い ようこそおかえり講話
25 〜 26日	岡大教会別席団参

11月	1、2日	ようばく一斉活動日
3日	日	西北おとめ総会
25日	日	学生担当者大会
27、28日	日	新任教会長の集い
30日	日	青年会心勇講合同総会

教務報

◆本部辞令	少年会隊長変更(6月26日付) 福門隊 松浦 遼
◆教養樹	10月 表時 上田 時弘 11月 警固 田原 太郎 12月 東鹿島 早田 茂
◆修養科第1008期修了者(8月27日修了)	飛鳥川 出口 翔太
◆別席願(8月16日～9月15日受付分)	上橋 松尾 友理乃



北松浦分教会
4代会長夫人
出口三千子氏(99歳)
2月23日お出直し



南阿太分教会
4代会長夫人
芝田百合子氏(88歳)
9月6日お出直し

【訃報】
葬儀は大教会長様斎主のもと、3月1日告別式が岡大教会で執り行われました。長年、教会長夫人、また大教会役員夫人として道の御用の上に尽くされた氏の功績を讃え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。

葬儀は高野英士・道弘分教会長斎主のもと、9月8日みたまうつし、9日告別式がセレモニーホールながたに(奈良県五條市)で執り行われました。長年、教会長夫人として道の御用の上に尽くされた氏の功績を讃え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。

岡大教会連絡報

立教二八八年 十月号(九月二十三日発刊)

岡大教会ホームページ



oka.or.jp
発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111
天理教岡大教会
電話(0744)54-2002
FAX(0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
188.9.23 / 074

今年もつながる布教活動の「バトン」 全教会での実動目指した歩みを進める

布教部

教祖140年祭に向かう年祭活動中の9月ひと月は、ご本部

より「全教会布教推進月間」を一手一つに世界たすけの歩みを進めよう」と打ち出され、各地でにをいかけ実動が展開されている。



▲週末や夕暮れのにをいかけでは、少年会員も勇んで実動に参加している。



▲各地で繋がれている「バトン」を手に、ハイチーズ♪

この「月間」には「更なる意識をもって布教にあたり、世界へ教えを広める(天理教布教部)」との思いが込められおり、岡大教会布教部(蓮池弘之部長)としては、昨年からの引き継いで「バトン」をつなぐ布教実動」を展開。独自に作成したにをいかけ用タペストリーを「バトン」としてつなぎ、連日、心勇んだ布教実動が各地で行われている。

ひと月の間に、全教会を一つのバトンでつなぐのは難しい。そこで布教部では、部内教会を地域ごとに8つのグループに分割。地域ごとにバトンを用意し、実動できるように準備を進めた。

「バトンをつなぐ布教実動」の醍醐味は、バトンを「届ける教会」と「受け取る教会」が共に実動するというところにある。また実動の様子をコミュニケーションアプリのLINE上で共有し、SNSで情報を配信。参加者からは、「普段はなかなか会うことが

こちらから
実動の様子が
写真で
ご覧頂けます
↓↓↓





→ 教祖140年祭企画 /
私の年祭活動

MINI
少年会版

こども達の胸にも伝わる
教祖年祭活動の熱い思い

本格的に蟬せみの声が聞こえはじめる7月中旬、大教会の朝づとめに3人のこども達が参拝にやってきました。森井善大くん（10歳・岡大教会）と同級生の山本玄げんくん、そして玄くんの姉の乙葉おとほさん（14歳）。この日から、「こどもおぢばがえり」が始まる7月末までの日参が始まった。

玄くんと乙葉さんは、中和大教会部内の布教所長のお孫さん。『こどもおぢばがえり』までに「ぢよいとはなし」を覚えなくて、朝づとめに来まして」と。加えて「入院中のおじいちゃんのご守護をお願いしたくて」とも。

「学校への登校時に、善大くんに「ぢよいとはなし」を教えてもらって練習していた」という。

『こどもおぢばがえり』への参加を誘う中で、登校の時におつとめを練習していた」と善大くん。さらに話を聞くとして

も「それ以上はない」とはにかむ。

教祖年祭活動の熱はこども達にも伝わり、何かを感じとってくれている。そう感じた出来事だった。

写真で振り返る一カ月

8月 August
9月 September

親神様お社製作も着々と



大教会の創立130周年記念祭に向けて製作が進められている親神様のお社。現在はお社の土台部分が形として見えるようになってきました。ミリ単位での調整が必要なため、一つひとつ丁寧に作業が進められています。

おつとめ衣を`お直し`



婦人会岡支部では、有志による「おつとめ衣」の`お直し、が進められている。これは、少年会総会で使用していることも用のおつとめ衣を補修するもので、今回は女の子が使用する「帯」を`お直し、。一つひとつ丁寧に確認し、心を込めて作業を進める。

＼ その他の開催行事はこちらから ／

天理教岡大教会
LINE 公式アカウント

「大教会連絡報」で紹介しきれない情報を
写真付きで配信しています♪



婦人会
岡支部

次代を担う「みちのだい」を育成

ちばに集い「委員部長後継者 盛華会講習会」開催

婦人会岡支部(吉田陽子支部長)は6月28と29の両日、「委員部長後継者 盛華会講習会」を開催。対象者15名が参加した。

この「講習会」は、委員部長後継者の育成を目的に、定期開催されているもの。今回は、「就任5年未満の委員部長」と「盛華会メンバー」にまで枠を広げ、参加を呼び掛けた。

初日、岡詰所に集まった参加者はまず、吉田支部長のお話から「委員部長」や「みちのだい」としての役割を再確認。続いて、外部講師による講話を拝聴した。

講話に立ったのは、小倉委員部長(婦人会中津支部)の是則(これの)なみ先生。「教祖を感じる」と題したお話に耳を傾け、時折、涙を拭(ぬぐ)いながらメモを取った。

二日目は、まず敷島大教会を参拝。その後、岡大教会で「日々教祖を感じ、信仰信念をもって喜びいっぱい通る」をテーマにねりあいを行い、会食で交流を深めた。

「教祖年祭」と「青年会心勇講合同総会」に向けて
岡分会の集い in 九州を開催し意見交換

青年会岡分会（芝田善展委員長）は8月30日、東松浦分教会を会場に「岡分会の集いin九州」を開催。主に九州在住の青年会員17名が参加した。

この「集い」は、教祖140年祭はもちろん、11月30日に敷島大教会で開催される「青年会心勇講合同総会」に向けて意気を高めるために開催されたもの。感話やねりあいのほか、お願いづとめ（写真）を勤めた。「青年会心勇講合同総会」へは、200名での参加を目標にしている。

